

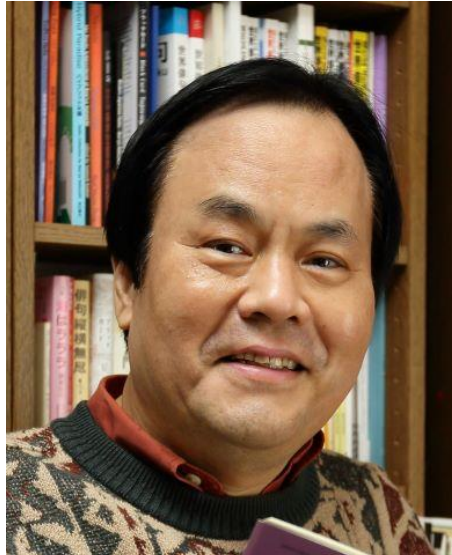
## 姫路文学学校準備室第二回

文学の響きが時代錯誤的になっている今の時代に、ささやかで小さな試みを始めます。

かつて神戸には「神戸市民の学校」があり、今も大阪には全国的な規模の「大阪文学学校」が存続しています。個人的に二つの文学を基調にした学校に縁をもたせてもらいました。五十年前のそんな経験がいまだに創作の面白さのワクワク感を保っているのです。(大西隆志)

7月スタートを切り、今回は二回目。二カ月に一回程の開催ですが、小規模でやります。講義と創作合評の二部に分かれています。講義のほうは文学、文学につながる哲学思想、社会科学などの文化を中心にして、幅広いジャンルを取り扱います。創作合評は、自作の詩歌(詩、俳句、短歌、川柳)、小説、エッセイなどを相互に語り合います。

われわれの文学学校準備室は、姫路というトポスに立脚しつつも、同時に地域性を超えた創造力あふれる文学や表現を発信するメディアであることを目指したいと思います。



### 第2回

日時・9月25日(月曜日)13時30分～17時  
会場・ブックカフェギャラリー・クワイエット・ホリデー(Quiet Holiday)2階

姫路市本町 68 番地/姫路駅からみゆき通り商店街を北へ徒歩7分。国道2号線(東行一方通行)を渡り本町商店街の一本目の角を西に30メートル進む。内藤広告西隣「クワイエット・ホリデー」の2階。

連絡先・090-3714-9387(書肆風羅堂・大西)

◎参加には、自作の詩歌又は小説、エッセイを持参。10部程コピーして下さい。持参できなくても合評会には参加し発言して下さい。

1部の講師には500円のカンパ、ワンドリンク発注が必要です。長時間でもあり菓子等の持込は可能。自作の作品は当日に配布するので、詩は1～2篇。俳句・短歌・川柳は10句、10首程度。

小説、エッセイは1200字(原稿用紙3枚)程度。

1部講座は13:30より質疑応答含め1時間30分程度。休憩を挟んで17:00まで創作合評。

楽しくワイワイとやります。

～予告～

### 第3回

日時・11月21日(月曜日)  
13時30分～17時

会場・ブックカフェギャラリー・クワイエット・ホリデー(Quiet Holiday)2階

講師・大西泰世(川柳作家・NHKラジオの人気番組「ぼやき川柳」は現在は『関西発ラジオ深夜便』のなかで続けている。

※2回目は、俳人の夏石番矢氏による講義。※

『わが俳句軌跡の半世紀を語る—うなる川から世界俳句へ』

### 夏石番矢氏のプロフィール

俳人、明治大学教授。本名は乾昌幸。1955年(昭和30年)に兵庫県相生市生まれ。相生市立双葉小学校から、姫路の淳心学院中学校・高等学校を経て東京大学へ。既成の守旧俳壇とは一線を画し、国際的視野に立って俳句の進むべき道を切り開いている。季語以外に活路を見出すキーワードの提唱、コスモロジー的俳句観、多言語俳句朗読、器楽演奏とのコラボの俳句朗読の実践など最前線を歩んでいる。海外での受賞も含め受賞多数。1998年から国際俳句季刊誌『吟遊』を発行し、2000年に世界俳句協会を創立し『世界俳句』を刊行。海外の詩人や俳人との交流や、俳句翻訳の活動などを多角的に活動している。今回の講義では夏石氏自らの半世紀を語られることで、「うなる川」のあり方から見えてくる俳句感なり、文学の発生の貴重な話になるだろう。

主催・姫路文学学校準備室、書肆風羅堂

連絡・姫路市西今宿3-1-9-702(書肆風羅堂)